

1.6億円投じ自動化推進

富士ダイス 4工場でロボ導入

富士ダイスは、本年度以降に1億6000万円の投資で、各生産拠点の自動化を推進する。国内4工場で自動化ロボットを導入する。昨年度は自動化投資で郡山製造所（福島

県）の生産量が従来比10%向上するなど、収益につながる成果を得

られた。本年度はこれを加速させ、さらなる業務効率化を図る。効果測定の結果次第では追加投資も検討する方針だ。

郡山製造所、熊本製造所、岡山製造所、秦野工場（神奈川県）の各工程で自動化を進める。郡山では治金工程の粉末成形プレス機にロボットアームを追加する計画。熊本では治金工程の成形加工機に自動搬送ロボットを追加導入する。このほか充填作業など、幅広い

業務で自動化を進める考えだ。

昨年度は郡山と熊本の治金工程などで自動化に着手した。郡山では超精密加工の平面研削作業の一部自動化に成功。ロボットによる標準化が進展したという。本年度は自動化の流れを各拠点に広げる方針。成果次第では予算外の投資も視野に入れる。

春田善和社長は「技能から技術への転換を、スピード感をもって進める」と語る。